

令和4年度公益財団法人金沢芸術創造財団事業計画

金沢市が設置する金沢歌劇座、金沢市文化ホール、金沢市アートホール、金沢市民芸術村、金沢卯辰山工芸工房、金沢湯涌創作の森、金沢能楽美術館及び金沢 21 世紀美術館等において、芸術文化の創造に関する事業を企画実施し、市民に愛され、利用される芸術文化の拠点を目指す。

1. 自主事業

(1) 自主公演事業

① 新進芸術家育成事業

事業名	会場	開催日	入場料	備考
カナザワダンスシアター2023	21世紀美術館 シアター21	令和5年3月	有料	オーディション 合格者を対象と したコンサート
S.C.D.C2023	21世紀美術館 シアター21	令和5年3月	有料	ダンスのコンペ ティション
JAZZGATE vol.14	文化ホール	令和5年 1月15日	有料	金沢ジャズ連盟 とのコンサート

② 教育プログラム事業

事業名	会場	開催日	入場料	備考
金沢ティーンズミュージカル	文化ホール	7月31日	有料	
こども映画発信事業	21世紀美術館	8月、 令和5年3月		子ども対象の映 画制作講座

③ 芸術文化普及事業

事業名	会場	開催日	入場料	備考
お届けアーツプログラム	市内小中学校 公民館等	7月～ 令和5年2月	一部有料	市内各所への 出向

(2) 財団施設活性化事業

① 金沢湯涌創作の森 湯涌クリエイティヴ2022

湯涌クリエイティヴ事業として次の展覧会を開催

■長岡造形大学グループ展：5月28日(土)～6月27日(月)

長岡造形大学グループ版画作家による展覧会

■上田正臣版画展(仮称)：7月2日(土)～7月31日(月)

著名版画作家による展覧会

■令和4年度工房作品展：11月12日（土）～12月4日（日）

染・織・スクリーン・版画の各工房利用者・講座受講生の作品展

■レジデント作家2人展+版画展：令和5年2月7日（火）～2月12日（日）

アーティスト・イン・レジデンスで招へい中の作家を紹介する交流展覧会プログラム

会期中、公開制作や作家によるギャラリートーク及び特別講座を実施

21世紀美術館 市民ギャラリーAにて開催

（3）ナイトミュージアム事業

① 目的

市内の文化施設を会場に地域の文化の担い手との協働により多彩な文化芸術イベントを実施することで、にぎわいの創出を図ることを目的とする。

② 期間

7月～10月の約4か月間

③ 対象施設

20施設程度を予定

④ 内容

上記期間で約20事業、金沢のコーディネーター及びユニークベニューの発掘を図る。

週末を中心に演奏会、演劇、美術など多彩なプログラムを提供

2. ホール施設の管理代行事業

（1）ホール事業

① 金沢歌劇座

事業名	開催日	入場料	備考
【鑑賞型事業】 オペラセレクション「滝の白糸」	11月23日	有料	泉鏡花原作のオペラをハイライト形式で再演

② 金沢市文化ホール

事業名	開催日	入場料	備考
文化ホール活性化事業	通年	イベントによる	株式会社ケイ・シー・エスへ委託

3. 金沢市民芸術村の管理代行事業

(1) 市民芸術村アクションプラン

人材育成をコンセプトに、ドラマ・ミュージック・アートの各工房でディレクターが企画立案したワークショップ事業を中心に市民への芸術活動を展開する。

区分	対象	開催予定日	事業名	事業内容
ドラマ工房	青少年	7・11月・ 令和5年 3月	未来の演劇人育成事業	県高文連との連携による高校演劇部を対象とした、舞台技術の実践的講習。優れた指導者を招聘し、戯曲・演出・演技のワークも実施。高校生だけでなく U25 の若手演劇人の参加も推奨していく。
		未定 年2回実施	【新】ドラマな仕事ーク	俳優をはじめ舞台に携わる様々な職業の演劇を仕事にしている人に、仕事に就いたきっかけや仕事の面白さなどをお伺いするトーク。
	一般	5月・ 令和5年 1月	舞台技術者養成講座	施設、音響、照明及び綱元の4つの技術講座を年2回開催。ドラマ工房の施設・機材の基本的な扱い方のレクチャーと、基本理念の周知を行う。
		8月 or 9月	ワク☆ドキ！ドラマキッズプロジェクト(子ども演劇事業)	体奏家の新井英夫氏を招き、演劇を通じてコミュニケーションの大切さを学ぶ。児童、障害のある方、親子対象のワークショップを開催。
		12月	ステップアップレクチャークラス	ドラマ工房技術認定者を対象にした、技術レベル向上と機材利用の促進を目的とする講座。防災等リスクマネジメントについても学ぶ。
		秋 (11~12月)	かなざわリージョナルシアター2022	秋の約6週間毎週末連続で地元カンパニーによる上演を行う。参加団体が主体的に運営し、地域の演劇界を活性化する。昨年に引き続き、富山・福井の団体も募集し交流する。
		秋 (11~12月)	劇評講座	リージョナルシアター連動企画。観劇して実践的な評論を行う。劇評はブログに掲載。
		通年	【新】朝劇！	U25の世代を対象に、登校・出勤前の時間を使って熟練の演劇人から学ぶ事業。
		通年	「芸術村村立演劇研究所」	金沢の演劇の歴史や俳優教育法などについて研究し、記録に残し未来につなげる事を目的とし、情報収集を行う。

区分	対象	開催予定日	事業名	事業内容
ミュージック工房	青少年	通年	芸術村フルーツキッズ	小学校高学年（4, 5, 6 年生）と中学生を対象に、創造力と表現力を刺激する音楽体験をフルーツを通して同世代の仲間と学ぶ。
		5 月	ふだん着ティータイムコンサート	オーケストラ・アンサンブル金沢の団員による親子向けの無料コンサート。
		8 月	【新】サイエンス・トーク&コンサート	小学生にもわかる宇宙科学をテーマにしたサイエンス・トークと、レジデントの協力を得て行うコンサート。【R3年度中止延期】
		12 月	【新】ファミリーコンサート	利用者団体（金沢吹奏楽研究会）の協力による親子で楽しめるコンサート。
	一般	4 月	高橋悠治+般若佳子コンサート	高橋悠治（ピアノ）、2020 年度レジデント般若佳子（ヴィオラ）、山根孝司（クラリネット）協働によるコンサート。
		6 月	平原慎司コンサート	2021 年度レジデント平原慎司による、金沢の水環境からインスパイアされたテーマで届けるエレクトリカ音楽を交えたコンサート。
		5～9 月	工房自主トレとことん音響講座	ミュージック工房サポートスタッフの育成を目的とする、ステージ音響制作などの運営の関する実践的ワークショップ。
		7 月	Kanazawa Percussion Festival	金沢発信のコンテンツをサポートする企画。工房利用者も交えた 5～6 組が出演。打楽器・リズムワークショップも開催。
		9 月	石川県市民吹奏楽フェスティバル 2022	石川県吹奏楽協議会主体の運営で、工房利用者や中学吹奏楽部も参加するフェスティバル。
		11 月、令和 5 年 1 月	【新】PIT4 ライブ vol.1、2	音響講座修了者が学んだことを実践し、実際のステージで PA 操作ができる体験クリニック。

区分	対象	開催予定日	事業名	事業内容
アート工房	青少年	5月	オリジナル T シャツをつくろう	シルクスクリーンでオリジナルデザインのTシャツを作る人気のワークショップ。
		5月	【新】アーチビ部	未就学児の親子対象のアート部活動。SNS等でコミュニティを広げメンバーとともにプログラムを考えていく。
		7月	【新】こどもアトリエ化計画	夏休みの一週間、アート工房を小学生にアトリエとして開放し、管理人となるアーティストが用意した仕掛けを手掛かりに子どもたちが主体的に創作と向き合うプログラム。
	一般	6月	100万人のキャンドルナイト in 金沢市民芸術村	夏至の夜に芸術村周辺を数千ものキャンドルで彩る毎年恒例のビッグイベント。
		9月、12月	【新】ART-SITE vol.1、vol.2	ジャンルを問わず市民を巻き込みながら、アート工房の個性的な空間を活かし創造的な展示会やパフォーマンスなどを行う企画。
		10月	無名の彫刻家展	「石川の石を彫ろう」の参加者による彫刻展。
		11月	アートな仕事ーク	アートな仕事に携わり活躍している方を招き、日々の活動やアトリエの様子などをお聞きするトークイベント。展示やワークショップも行う。
		令和5年2月	Sym-企画公募	北陸在住の方から実験的企画を募集し、ディレクターとともに新しい創造の場を作るプロジェクト。
		通年	【新】アンツ勉強会	アーティストとの座談会や工房見学などの体験を通じて、開村25年以降の工房の活動をアンツとともに考えていく勉強会。アンツの交流を深め、新メンバーも募っていく。

3 工房合同企画

区分	対象	開催予定日	事業名	事業内容
3 工房	一般	10月	3 工房合同企画	芸術村開村記念日に、子どもから大人まで楽しめるドラマ、ミュージック、アートの3工房による同日開催の合同企画。今年は「3 工房合同企画 in 泉鏡花フェスティバル 2022」とし、泉鏡花フェスと共催で実施。

4. 金沢卯辰山工芸工房の管理代行事業

(1) 技術研修者の養成

金沢の高度な工芸技術と優れた造形感覚を養う技術研修者を養成する。

令和4年度は新たに8名（陶芸3名、漆芸1名、金工1名、ガラス3名）を迎え入れ、総勢25名（陶芸6名、漆芸4名、染4名、金工4名、ガラス7名）を養成する。

(2) 工房研修者と修了者の作品展

1年間の研修成果発表の場として、年度末3月に「研修者作品展」を開催するほか、「修了者作品展」を【クラフト広坂】や【銀座の金沢】で開催し、卯辰山から現代の工芸を積極的に発信する。

(3) アートフェア東京 2023・インテリアライフスタイル 2022 出展事業

「金沢卯辰山工芸工房」として、巨大なアートマーケットであるアートフェア東京及び生活工芸における国際見本市であるインテリアライフスタイル展に出展し、選抜した研修者に出展の機会を提供する。

(4) 漆工芸材料精製研修事業

工芸の根幹の一つである材料の栽培と科学的研究に基づく制作を通して、四季を持つ日本の風土であってこそその産物であることを認識させ、工芸を愛する心を育成し、人間力を持つクリエイターとして大成させる。

(5) 2022 卯辰山WORKS（第9回）

金沢の伝統工芸の継承と発展を図るため、金沢らしい新たな工芸を提案するとともに、地域の若者が工芸に触れる機会を作ることで、工芸文化振興に繋げる。

(6) 第16回卯辰山茶会（開催準備）

卯辰山工芸工房研修者が制作する茶道具や衣装を用いて行う茶会の、令和5年度に向けての制作準備、茶道の知識を得る。

事業名	開催期間	会場	入場料	摘要
研修者作品展	令和5年 3月	21世紀美術館	無料	研修者による令和4年度 成果発表展
修了者作品展	年2回	クラフト広坂、 銀座の金沢	無料	修了後、各分野で活躍する修了者による 作品展
アートフェア東京 出展事業	令和5年 3月	東京国際 フォーラム	有料	出展希望者から選抜し、 「金沢卯辰山工芸工房」として出展
インテリアライフ スタイル出展事業	6月	東京ビッグサイト 西展示棟	有料	出展希望者から選抜し、 「金沢卯辰山工芸工房」として出展

5. 金沢湯涌創作の森の管理代行事業

(1) 工房事業

創作の森の核となる「四つの貸し工房」(藍工房、染織工房、スクリーン工房、版画工房)の活用促進のため、一般市民を対象とした各種工房体験・講座・教室を開設する。

- ① 工房体験：一般の初心者から公民館、社会教育団体、温泉宿泊客など、個人からグループまでを対象とした半日ないし1日で制作する工房体験を実施
- ② 講座：初心者及び基本習得者を対象に1～5日間を1講座とした各種講座を通年開催
- ③ 版画の学校：様々な版種に関する基本の技術を網羅的に学ぶ講座を開催
金沢美術工芸大学と連携
- ④ 版画教室：初心者から上級者まで対応可能な定期教室
木版画、銅版画、リトグラフの各分野での技法を段階的に習得することがねらい
- ⑤ 特別講座：外部講師を招へいし、より専門的な技法を習得する講座を開催

工房事業		開催数 (回)	定員	内 容
工房体験	染	/	8名程度	絞り染めによるハンカチやバンダナの制作ほか
	織		5名	ミニテーブルセンター織りほか
	スクリーン		8名程度	ポストカード、巾着袋等への印刷、エコバック作りほか
	版画		8名程度	ドライポイントによる紙版画ほか
講座・学校	染	10	4～6名	下記年間スケジュール参照
	織	8	4～5名	
	スクリーン	11	3～4名	
	版画	13	5～8名	
教室	木版画	24	5名	各版種の基本～応用まで
	銅版画	希望日	5名	
	リトグラフ	希望日	5名	
	木版リト	希望日	5名	
特別講座	版画	2	8名	キモプレート×シルクスクリーン(5月)、 プラ板でつくるでこぼこ版画(7月)

染・織講座、スクリーン、版画の学校 年間スケジュール (予定)

	染 (定員4～6名)	織 (定員4～5名)	スクリーン (定員3～4名)	版画の学校 (定員5～8名)
4月	鯉のぼり 手ぬぐい、 加賀友禅 基礎から応用まで	桜の木でシルクの糸を 桜色等に染める	端午の節句 タペストリー、 スマホケース	エッチング・アクア チント
5月	加賀友禅 基礎から応用まで、 すくも藍の発酵建て		手帳カバー	石版、 ノントクシックイン タリオ、 キモプレート×シル クスクリーン
6月	すくも藍の発酵建て	模紗織り(市松柄)で テーブルランナーを織 る	エンボスプリント	シルクスクリーン (紙編) 木口木版
7月		ストライプのウールマ フラーを織る	アクリルフレーム	多色リトグラフ/キ モプレート、 プラ板でつくるでこ ぼこ版画
8月	藍の生葉染め	初めての織り！ トートバック(平織り)		
9月	ウルシ染め	ファンシーツイールの マフラーを織る	金・銀箔プリント	ディープエッチン グ・シンコレ、 木版リトグラフ、 1版多色彫り進み リノカット
10月	蠟けつ染め クッション カバー制作	初めての織り！ ランチョンマット	行灯	シルクスクリーン (アクリル)CMYK-4レ イヤー刷り、 板目木版画、 紙ドライポイント/ コラグラフ
11月	型捺染 タペストリー制 作	クリスマスツリーの額 装	年賀状、 旗源平	メゾチント(銅版画)
12月	蠟けつ染め 干支(卯) の作品制作		年賀状、 旗源平	
令和 5年 1月	蠟けつ染め 一輪挿し			
2月			おひな様タペスト リー	
3月	春の手ぬぐい	シルクのストールを織 る	時計	

(2) 湯涌わくわく体験事業

アートバスを利用した、湯涌創作の森の工房体験と併せて、湯涌の施設めぐりと温泉での入浴・昼食付きのレジャー体験プランを概ね 10 名以上で開催し、地元及び近隣施設との連携を強化する。

(3) 交流事業

様々な人が交流する場としての利用を高めるため、里山の自然を活かした幅広いジャンルの交流事業を開催する。小学生を対象としたアートキャンプは、NPO法人クラブぽっとと連携し、夏（6月）及び冬（12月）に開催する。

また、湯涌クリエイティブ 2022 での展覧会開催会期に併せ、地域の関連施設と連携したワークショップ「江戸村でのおばけTシャツ作り」や「花咲く湯涌まるごとフェスタ 2022 秋まつり」への出店などの交流事業を行う。

(4) アーティスト・イン・レジデンス事業

一般の工房利用者が比較的少なくなる冬期間に、版画分野で現在活躍中、または将来活躍が期待される若手作家を招へいし、創作の森版画工房にて約 1 か月間にわたる滞在制作活動を行う。冬期間に 2 名招へいする。

- ・開催期間：令和 5 年 1 月～ 3 月
- ・滞在期間中に招へいアーティストによる展覧会、ワークショップ等を開催し、オープンスタジオとする。
- ・制作された作品について、参考作品として寄贈を依頼

6. 金沢能楽美術館の管理代行事業

(1) 展示事業

① 通常展

事業名	開催期間	内容
企画展「能楽 FOUR SEASONS – 春・夏編–」	3月19日(土)～ 8月31日(水)	能楽のなかの春と夏をテーマに能面・能装束等の名品を紹介
企画展 「コレクション展 (仮)」	11月26日(土)～ 令和5年3月頃	能面・能装束を中心としたコレクション展。新たに寄贈された能楽資料等もあわせて紹介

② 特別展

事業名	開催期間	内容
特別展「加賀宝生と中野家」(仮)	9月17日(土)～ 11月13日(日)	幕末から近代の加賀宝生に注目し、13代藩主前田斉泰ゆかりの能装束(文化庁所蔵/京都国立博物館管理)をはじめ、斉泰の根岸能舞台(現横浜能楽堂)や明治維新以後の旧加賀藩御手役者等と深く関わった実業家中野家について紹介予定

(2) 自主事業

① 写謡の会（能楽解説講座）

県立能楽堂で開催される定例能に合わせ、当日午前に能楽師により実施する、謡本書写とミニ謡レッスン（年 11 回開催）

② 観能のタベプレ講座（未定）

夏と冬に県立能楽堂にて開催される、「観能のタベ」の解説講座。開催される演目の見どころをわかりやすく解説する。県立能楽堂との連携事業（夏・冬数回開催）

③ 能面打ち講座

約 5 か月で一つの能面を制作する講座を開催（4 月中旬～9 月中旬。全 20 回）

④ 第 14 回現代能面美術展（公募）

新作の能面を全国から公募し、能面展を開催（10 月～11 月）

⑤ 御松囃子などの能楽公演を開催

金沢独自の武家文化について能楽を通じて紹介

⑥ 「工芸の風姿花伝」開催

地元工芸作家によるオリジナル作品を企画、製作、展示販売
展示物や季節、能の演目などをテーマに研究会を実施・作品を発表

⑦ ナイトミュージアム・夜間開館の開催

季節や地域イベントに合わせ、夜間のイベントや夜間開館を開催

⑧ その他

能楽師を講師とする学びや、能面作家や愛好家を講師とする親子お面づくりの開催

⑨ 15 周年記念事業「ナンシー美術館所蔵能面展（仮称）」開催準備

ナンシー市姉妹都市提携 50 周年(令和 5 年)記念事業と連携した「ナンシー市美術館所蔵能面修復プロジェクト」（オンライン会議）を継続して実施

7. 金沢 21 世紀美術館の管理代行事業

美術館の施設、設備等の充実と効率的な管理運営に努めるとともに、新たな文化を市民とともに創造する拠点として、多彩で魅力ある展覧会やプログラムを実施、地域や他都市との連携も強化し、北陸新幹線開業効果を維持しつつ混雑緩和やきめ細やかな来館者サービスの向上を重点的に展開していく。

(1) 展覧会事業

① 特別展「ムン・キョンウォン&チョン・ジュンホ」

韓国を代表するアーティストデュオの国内初となる大規模個展を開催

(会期) 5月3日(火・祝)～9月4日(日)

(会場) 展示室7～12

② 特別展「時を超えるイヴ・クラインの想像力—不確かさと非物質的なるもの」

空間と芸術の脱物質化というテーマを探求したフランスのアーティスト、イヴ・クラインを中心とした展覧会を開催

(会期) 10月1日(土)～令和5年3月5日(日)

(会場) 展示室1、5～12、14

③ 特別展「甲冑の解剖術—意匠とエンジニアリングの美学」

甲冑と現代作家による映像作品を併設し、甲冑という文化資産に触れる展覧会を開催

(会期) 5月3日(火・祝)～7月10日(日)

(会場) 展示室6、14

④ 特別展「ひとがた」をめぐる造形

国立工芸館との連携により、現代の作家による「ひとがた」の造形を紹介する展覧会を開催

(会期) 7月23日(土)～9月11日(日)

(会場) 展示室6

⑤ コレクション展

当館コレクションを紹介する展覧会

「コレクション展1 うつわ」

(会期) 5月21日(土)～10月16日(日)

(会場) 展示室1～5、13

「コレクション展2 Sea Lane - 島々への接続」

(会期) 11月3日(木・祝)～令和5年3月19日(日)

(会場) 展示室2～4、13

⑥ 特別展示：オラファー・エリアソン

(会期) 7月23日(土)～9月11日(日)

(会場) 展示室14

⑦ 特別展示：マシュー・バーニー

(会期) 5月21日(土)～9月11日(日)

(会場) 展示室2

⑧ その他の展覧会

【デザインギャラリーにおける展覧会】

「ジェフ・クーンズ×ベルナルド」

(会期) 4月9日(土)～9月11日(日)

「lab.5 ヘラルボニー」

(会期) 10月1日(土)～令和5年3月21日(火・祝)

【長期インスタレーションルームにおける展覧会】

「アペルト16 AKI INOUE : Acting Shells」

(会期) 4月9日(土)～9月11日(日)

「アペルト17 SCAN THE WORLD [NEW GAME]」

(会期) 10月1日(土)～令和5年3月19日(日)

⑨ 令和5年度開催予定展覧会の準備

(2) 学芸課・交流課合同事業

① ミュージアム・クルーズ

金沢市内で学ぶ小学4年生全児童を美術館に招待し、コレクション展を中心に鑑賞するプログラムを実施

② 中学生まるびいアートスクール

アーティストが中学生と共に行うワークショップや展示・鑑賞などの教育プログラムを実施

③ オープンまるびい

市民美術の日(11月3日)に、美術館が地域とつながり、地域住民が美術館に親しむ契機となる、ギャラリートークやワークショップなどを実施

④ アーティスト・イン・レジデンス金沢(AIR KANAZAWA)

国内外から招へいするアーティストやクリエイターが金沢に滞在して創造活動を行うことにより滞在者と地域の人々との出会いや交流を促進

(3) 地域文化活性化支援事業

① 新・レクチャー・シリーズ

芸術、テクノロジーなど様々な分野の専門家によるレクチャーを開催(年5回)

② パフォーマンスシリーズ

「森山未来 イヴ・クラインを踊る (仮)」

「荒木悠 紙カンパニー (仮)」

③ 共同・共催事業

「広坂シネマクラブ」

大学生・高校生が自主上映会やフィルム映画に親しむ機会を創出する各種映画関連プログラム等の開催

「芸術交流共催事業 アンド21」

県内外のアーティストと協働しながらシアター21を主会場に舞台芸術を発信する事業の開催

④ パフォーミングアーツ普及事業

「劇的バスツアー」

15歳～18歳(ユース)を対象に、優れたステージパフォーマンス作品を、バックステージツアー、プレアフタートークなども交えて鑑賞体験するスペシャルバスツアー(春、秋2回)

⑤ 令和5年度開催予定事業の準備

(4) 教育普及・生涯学習基盤整備事業

① 社会包摂芸術活動支援事業(誰もが来館しやすい、過ごしやすいプログラムを展開)

・みんなの美術館 みんなと美術館

ろう者や難聴者が中心となり、聞こえない・聞こえにくい・聞こえる人たちが感性や気づきを尊重し合う場づくりに取り組む

・アウトリーチ・プログラム「美術館がやって来た」(仮)

学校、福祉施設などを対象として「観る」「作る」のプログラムを提供し、アートとの出会いを創出

② キッズスタジオ・プログラム

平日、週末を通して、主に未就学児や小学生の親子を対象としたスタジオ開放やワークショップ等を開催

未就学児の身体感覚を育むワークショップ「のびのびからだ遊びの場@キッズスタジオ」を開催

③ まるびいみらいカフェ

ボランティア活動の活性化と継続的な育成を目指し、ボランティア同士が交流しながら自主的な活動を実施

④ 人材育成

- ・インターンシップ

21世紀美術館の学芸業務を体験することで、専門知識を深めるとともに、職業意識と勤労観を育て、今後の美術館活動を担う人材を育成

- ・博物館実習

学芸員の資格取得に必要な大学生の博物館実習を実施

(5) ミュージアムグッズ販売事業

美術館オリジナルのミュージアムグッズを企画・制作・販売

(6) その他

① インフォメーションサービス事業

- ・美術館活動を広く国内外に発信
- ・近隣商店街等との連携を強化（アートdeまちあるき事業）
- ・アートバスを運行

② 美術館サポーターネットワーク構築事業

- ・友の会の拡充及びボランティア活動を拡大
- ・新たなサスティン会員制度への移行及び会員への特典事業の実施

③ 施設及び設備の改修

- ・照明備品交換及び空調設備改修工事など

④ 開館20周年事業準備費

- ・WEB改修

アクセスIBILITYの向上やユニバーサルデザインへの対応を強化し、利用者の利便性を向上させるためのホームページの改修に着手（2か年計画の1年目）